9/6 SUN.

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

Open Campus

信じ合い、響き合い、高め合う

音楽総合学科　体験授業　11：00～12：00

作曲コース

「作曲家が音に込めた想いを探る　名曲の魅力を楽譜から読み解く」

野崎　勇喜夫（作曲・音楽理論 教授）

バッハ、ベートーヴェン、ショパン・・・名曲はなぜ人を惹きつけるのか。その魅力を「楽譜」を観察することで読み解いていきます。ハーモニー、メロディ、リズムの観点から作曲家の音へのこだわりについて解説します。

音楽学コース

「メロディーの美しさとは？　――メロディーの秘密と作曲家が込めた意味――」

稲田　隆之（音楽学 教授）

西洋音楽がバロック時代に入ると、「主旋律＋伴奏」という響きが生まれます。これをホモフォニーといいます。古典時代に入ると、メロディーの魅力は作品にとって欠かせなくなります。ロマン派に入ると、作曲家はメロディーに理念を込めていきます。メロディーの秘密とメロディーに込められた意味について考えてみます。

音楽教育コース

「世界の音楽教育を知ろう」

鈴木　雅之（音楽教育 講師）

世界三大音楽教育と呼ばれるリトミック、コダーイ、オルフ。耳にされたことのある方も多いかと思います。日本にも、ヤマハやスズキ・メソード等、優れた音楽教育が存在しています。今回は、これらの音楽教育を概観し、音楽教育の本質や意義について皆で検討してみましょう。

アートマネジメントコース

「日本の劇場・ホールについて知ろう」

赤木　舞（アートマネジメント　准教授）

劇場・ホールは、単なる建物ではなく、音楽、演劇、ダンスなど、様々な公演が創られる場であり、観客と芸術との出会いの場でもあります。そこでは、いろいろな専門性をもった人たちが働いています。劇場・ホールの歴史を振り返りながら、劇場の裏側を紹介します。

アートマネジメントコース

「『現代のポピュラー音楽を分析してみよう！』J-POPはコード進行の発展に向かった！！」

欠田　芳憲（アートマネジメント　講師）

都合により担当講師が
「赤木　舞」に変更になりました。

ポピュラー音[illegible]合から作られています。異なる文化要素の集合体である[illegible]元に現代のポピュラー音楽の作りを探ってみます。